

国語科 授業デザイン

日	時：平 25 年 2 月 15 日（金）第 3 校時（10 時 40 分～11 時 30 分）
学	年： 本校 中学部 2 年
授 業 場 所：	本校 中学部 2 年教室

1. 単元（題材）名
走れメロス

2. 単元（題材）の目標
・ 文学的な文章の特徴をとらえ、読み味わい、自分の考えをまとめる。

3. 単元（題材）の指導計画
指導計画（全 6 時間）

時	主な学習活動・内容	主な使用機器
第 1 時	全体を通読する。 どんな話だと思ったか書く。	IWB, TPC, 協働学習システム
第 2 時	前時の意見を紹介，コメントする。 心情曲線を書く。	IWB, TPC, 協働学習システム
第 3 時	心情曲線を書く。 各自が書いた心情曲線と根拠を説明する。 「謎」の紹介。（次回の授業でどのようなことを考えるか。）	IWB, TPC, 教材提示装置
第 4 時	謎について考える。 ・ 王の人物像 ・ 作者の書き方	IWB, TPC, 協働学習システム
第 5 時	グループで自分の考えを発表する。 グループで、効果が上がるような発表の仕方・順番を話し合う。 各グループの「謎」について報告する。 感想文を書く。『そうだったのか 走れメロス』 （本時 5/6）	IWB, TPC, 協働学習システム
第 6 時	感想文の続きを書く。 感想交流会を行う。	IWB, TPC, 協働学習システム

4. 本時の目標

- (1) 話す速度や音量，言葉の調子や間の取り方などに注意して，わかりやすい発表を行うこと。
- (2) 自分の伝えたい事柄を明確にして，文章を書くこと。

5. 本時の情報通信技術（ICT）活用

活用する場面	・導入 ・展開
活用する者〔目的〕	・児童・生徒〔・個別学習 ・発表〕 ・指導者〔・課題提示〕
活用するコンテンツ	協働学習システム
活用する機器	・IWB ・TPC ・教材提示装置

6. 本時の展開

	学 習 活 動	活用機器 (活用者)	指導上の留意点・支援内容 【ICTによる支援】
導 入	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">協働学習</div> <p>① グループで自分の考えを発表する。</p> <p>② グループで、効果があがるような発表の仕方・順番を話し合う。</p>	TPC（生徒）	<p>・話す速度や音量，言葉の調子や間の取り方などに注意して，わかりやすい発表となるよう支援する。</p> <p>【TPC，協働学習システム】</p> <p>・各自の考えをグループで共有する。</p>
展 開	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">一斉学習</div> <p>① 各グループの「謎」について報告する。</p>	IWB（指導者）， TPC（生徒）	<p>【IWB，協働学習システム】</p> <p>・各グループの考えを順番にIWBに出す。</p> <p>・見やすい大きさに拡大する。</p>
ま と め	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">個別学習</div> <p>① 感想文を書く。 『そうだったのか 走れメロス』</p>	IWB（指導者）， TPC（生徒）	<p>・自分の読みと，他の人の報告内容を元に，感想文を書く。</p>

7. 本時の評価（評価の観点・観点別の評価を含む）

- (1) 話す速度や音量，言葉の調子や間の取り方などに注意して，わかりやすい発表を行うことができたか。
- (2) 作品を客観視して，登場人物の存在意義や作者の意図を読み取ることができたか。
- (3) 自分の伝えたい事柄を明確にして，文章を書くことができたか。

8. 準備物

IWB，TPC，デジタル資料（協働学習システム）